

数 I ・ A

1

(1) $x = \frac{3}{\sqrt{5} + \sqrt{2}}$, $y = \frac{3}{\sqrt{5} - \sqrt{2}}$ のとき,

$$x + y = \langle 1 \rangle \sqrt{\langle 2 \rangle}, \quad x^2 + y^2 = \langle 3 \rangle \langle 4 \rangle$$

である。

(2) a を定数とする。2つの不等式

$$4x - 5 > 7 - 2x \cdots \textcircled{1} \quad x + 4 \geq 3x - a \cdots \textcircled{2}$$

がある。①の解は $x > \langle 5 \rangle$ である。①, ②をともに満たす整数 x がちょうど3個存在するとき、 a の値の範囲は $\langle 6 \rangle \leq a < \langle 7 \rangle$ である。

(3) 次のデータは、8人の20点満点のテストの結果である。

14, 7, 6, 15, 9, 2, 8, 11 (単位は点)

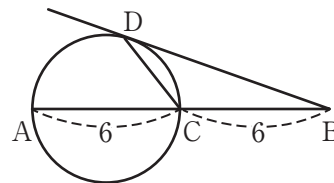
このデータの中央値は $\langle 8 \rangle$, $\langle 9 \rangle$ 点, 平均値は $\langle 10 \rangle$ 点, 標準偏差は $\langle 11 \rangle$ 点である。

(4) 長さが12である線分 AB の中点を C, 線分 AC を直径とする

円に点 B から引いた接線の接点を D とする。BD の長さは

$$\langle 12 \rangle \sqrt{\langle 13 \rangle} \text{ である。また, CD の長さは } \langle 14 \rangle \sqrt{\langle 15 \rangle}$$

である。



2

a, b を実数の定数として、次の2つの2次関数

$$f(x) = x^2 - 2ax + 2a + 5, \quad g(x) = x^2 + bx - b + 2$$

があり、 $y = f(x)$ のグラフを C_1 、 $y = g(x)$ のグラフを C_2 とする。

(1) C_1 が点 $(5, -2)$ を通るとき、 $a = \boxed{\langle 1 \rangle}$ である。

(2) C_1 が x 軸と共有点をもたないとき、 a の値の範囲は

$$\boxed{\langle 2 \rangle} - \sqrt{\boxed{\langle 3 \rangle}} < a < \boxed{\langle 2 \rangle} + \sqrt{\boxed{\langle 3 \rangle}}$$

である。

(3) $0 \leq x \leq 3$ における $f(x)$ の最小値が3であるとき、

$$a = \boxed{\langle 4 \rangle \langle 5 \rangle}, \quad \text{または} \quad a = \boxed{\langle 6 \rangle} + \sqrt{\boxed{\langle 7 \rangle}}$$

である。

(4) C_2 と x 軸とが異なる2点 P, Q を共有点にもつとする。線分 PQ の長さが $2\sqrt{6}$ であるとき、

$$b = \boxed{\langle 8 \rangle \langle 9 \rangle}, \quad \text{または} \quad b = \boxed{\langle 10 \rangle}$$

である。

(5) $a = \frac{1}{2}$ とする。 C_1 を x 軸方向に -2 、 y 軸方向に p だけ平行移動したところ C_2 と一致した。

このとき、

$$b = \boxed{\langle 11 \rangle}, \quad p = \boxed{\langle 12 \rangle \langle 13 \rangle}$$

である。

3

三角形 ABC は半径が 1 の円に内接しており、 $\angle A = 60^\circ$ 、 $CA = \sqrt{2}$ である。

(1) $BC = \sqrt{\langle 1 \rangle}$ 、 $\angle B = \langle 2 \rangle$ である。

ただし、 $\langle 2 \rangle$ には次の①～⑤のうちから適切なもの 1 つを選べ。

- ① 30° ② 45° ③ 60° ④ 120° ⑤ 135°

点 C から辺 AB へ下ろした垂線と辺 AB との交点を H とすると、 $AB = AH + BH$ が成り立つ

ので、 $AB = \frac{\sqrt{\langle 3 \rangle} + \sqrt{\langle 4 \rangle}}{\langle 5 \rangle}$ である。(ただし、 $\langle 3 \rangle < \langle 4 \rangle$ とする。)

また、三角形 ABC の面積は $\frac{\langle 6 \rangle + \sqrt{\langle 7 \rangle}}{\langle 8 \rangle}$ である。

(2) $\angle BAC$ の二等分線と円の交点のうち、点 A と異なる点を D とする。 $BD = \langle 9 \rangle$ であり、

$AD = \frac{\sqrt{\langle 10 \rangle} + \sqrt{\langle 11 \rangle}}{\langle 12 \rangle}$ である。(ただし、 $\langle 10 \rangle < \langle 11 \rangle$ とする。)

4

(1) 1つのサイコロを続けて2回投げるとき、2回とも同じ目が出る確率は $\frac{\langle 1 \rangle}{\langle 2 \rangle}$ である。また、

出る目の積が偶数となる確率は $\frac{\langle 3 \rangle}{\langle 4 \rangle}$ である。

(2) 1つのサイコロを投げ続けて、同じ目が2回連続して出たら終了するものとする。ちょうど3

回目に終了する確率は $\frac{\langle 5 \rangle}{\langle 6 \rangle \langle 7 \rangle}$ である。3回目までに終了する確率は $\frac{\langle 8 \rangle \langle 9 \rangle}{\langle 10 \rangle \langle 11 \rangle}$ である。

また、3回目までに終了しなかったとき、3回目までに出る目の積が奇数である条件付き確率は

$\frac{\langle 12 \rangle}{\langle 13 \rangle \langle 14 \rangle}$ である。

設問は以上です。